令和６年度　北海道士別東高等学校　「特別活動」全体計画

「北海道教育推進計画」
(令和５年度から５カ年)
○社会で活きる力の育成
○豊かな人間性の育成
○健やかな体の育成
○学びを支える過程・地域との連携・協働の推進
○学びをつなぐ学校づくりの実現
○学びを活かす地域社会の実現

「校訓」
真理・勤労・自主

「学校教育目標」
地域と連携し、学ぶ意欲にあふれ、地域社会に貢献することができる人材を育成する。

「関係法令等」
○日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○高等学校学習指導要領

「保護者の要望」
1　社会の中で自立できる力を身につけてほしい。
2　少人数だからこそできる教育のもと、基礎的・基本的な力を身につけてほしい。

「特別活動の重点目標」
1　集団生活の中で望ましい人間関係を結び、他者の気持ちをくみ取り、責任感のある行動やコミュニケーション能力を高める。
2　キャリア教育の視点(自己有用感を高める、よりよい人間関係づくり、異世代との交流など)を持った行事の企画、運営を実施する。

「生徒の実態」
1　真面目で素直な生徒が多い。
2　コミュニケーション能力、学習面、自己管理などに課題がある。

「生徒会活動」
生徒の自発的、自主的な活動を通して、学校生活に充実感をもち、学校への帰属意識を深める。また、生徒会役員を中心に、他者の気持ちを思いやり、生徒相互のコミュニケーションが円滑に行われるように、教員側が必要に応じて支援する。

「ＨＲ活動」
豊かな心・感性を育むため、体験活動を含めたあらゆる機会を通じ、その実現に向けて努力する。特に他者とのコミュニケーション能力や、好ましい人間関係を構築できる能力を育てる。

「学校行事」
集団活動を通して、自己管理能力や社会性を育て、他者を思いやる態度やルール・マナー等、集団生活や社会生活に不可欠な行動様式を身につけさせる。

【各教科・科目や総合的な探究の時間との関連】
各教科・科目や総合的な探究の時間などで育成された能力と、特別活動で培った実践的能力を関連させ、それぞれの学習活動を補いながら、学校教育目標や特別活動の重点目標の達成に努める。

【生徒指導の機能との関連】
生徒の自発性・自主性を重んじながらも、時宜を得た教員側の援助を行う。